

# ●Lesson 1 タイ文字の構成

## ส่วนประกอบของภาษาไทย

### 1. タイ文字の構成

タイ文字は

- (1) <sup>しいんじ</sup> 子音字
- (2) <sup>ほいんじ</sup> 母音字
- (3) <sup>まっしん</sup> 末子音字
- (4) <sup>せいちょうきごう</sup> 声調記号
- (5) <sup>すうじ</sup> その他の記号、数字

で構成されます。

- (1) 子音字は4 4字あり、それぞれ高<sup>こう</sup>子音1 1字、中<sup>ちゅう</sup>子音9字、低<sup>てい</sup>子音2 4字にグループ化<sup>か</sup>されます。「高」子音、「中」子音、「低」子音といっても、<sup>じっさい</sup> 実際の音の高低<sup>おと こうてい</sup>とは関係なくグループの名前<sup>なまえ</sup>を指<sup>さ</sup>します。このグループはそれぞれ声調<sup>せいちょう</sup>のパターン<sup>こと</sup>が異なります。
- (2) 母音字は3 2字あり、それぞれ長<sup>ちょう</sup>母音1 2字、短<sup>たん</sup>母音1 2字、特別<sup>とくべつ</sup>母音8字にグループ化<sup>か</sup>されます。母音字の位置<sup>いち</sup>は、子音字の上下左右<sup>じょうげさゆう</sup>に置<sup>お</sup>かれるために少し複雑<sup>ふくざつ</sup>です。さらに子音字と同じ形<sup>かたち</sup>の母音字があり、末子音<sup>まっしん</sup>があるかないかで形<sup>か</sup>が変わ<sup>か</sup>る場合<sup>ばあい</sup>もありますので最初<sup>さいしょ</sup>はとまどうかもできません。
- (3) 末子音字は、子音字のなかの3 2字が使<sup>か</sup>われます。末子音<sup>まっしん</sup>の音は6つだけですので、ほとんどの音<sup>おと</sup>がだぶっていますし、よく使<sup>か</sup>われる末子音<sup>まっしん</sup>は決<sup>き</sup>まっています。
- (4) 声調記号は4つあります。声調記号<sup>せいちょうきごう</sup>がつかない場合<sup>ばあい</sup>の声調<sup>せいちょう</sup>もありますので、実際<sup>じっさい</sup>には5つの声調記号<sup>せいちょうきごう</sup>となります。上記<sup>じょうき</sup>(1)(2)(3)の形と(4)の声調記号<sup>せいちょうきごう</sup>を合<sup>あ</sup>わせて声調<sup>せいちょう</sup>の仕方<sup>しかた</sup>が決<sup>き</sup>まります。声調<sup>せいちょう</sup>の仕方<sup>しかた</sup>を声調規則<sup>せいちょうきそく</sup>と呼<sup>よ</sup>びます。

なし	第 1 声調記号 mái èek ไม้เอก	第 2 声調記号 mái thoo ไม้โท	第 3 声調記号 mái trii ไม้ตรี	第 4 声調記号 mái càttawaa ไม้จัตวา
なし	— ' —	— ๒ —	— ๓ —	— + —

(5) その他の記号は黙音記号<sup>もくおん</sup>、繰り返し記号<sup>く かえ</sup>、省略記号<sup>しょうりやく</sup>などがありますが数は少ないです。数字はタイ数字が10字あります。

このレッスンでのタイ文字の学習は、(1)(2)(3)の文字と音を覚えることと、(4)の声調記号がついた場合の声調の仕方(声調規則)を覚えることがメインになります。

## 2. タイ文字の表記<sup>ひょうき</sup>

タイ文字は英語と同じく、基本的には「子音字+母音字」<sup>きほん</sup>で表記されています。それに末子音字がつく場合が多く、「子音字+母音字+末子音字」という形をなします。さらに子音字には声調記号がつき、「子音字+声調記号+母音字+末子音字」<sup>おんせつ つく</sup>で1音節を作ります。

実際の表記例は下記のとおり、最初の子音字を基点として、子音字の上部に声調記号<sup>れい か き</sup>があり、子音字の上下左右に母音字が配置され(例では右側)、最後に末子音字<sup>きてん じょうぶ</sup>がつきます。



タイ文字の表記は発音と一致しています。表記どおりに発音すれば、正しい発音となります（例外はあります）。英語のように1単語ずつ発音やアクセント位置を覚えなくてもタイ文字を見れば発音できます。しかし複数の子音字が同じ音を使いますので、どの子音字を使うかは単語ごとに覚えていく必要があります。つまり、タイ文字の発音と声調規則を覚えればタイ語の文字を読むことはできますが、タイ文字を書くためには1単語ごと覚えていく必要があります。

### 3. 発音の復習

初級1で勉強したタイ語の発音について、もう一度復習しておきましょう。

● **母音**

a, aa ๑๐ ๑๑	i, ii อิ อิ	u, uu อุ อุ	e, ee เอะ เอ	o, oo โอะ โอ
ə, əə เออ๐๑ เออ		ɯ, ɯɯ อิ อิ	ɛ, ɛɛ แเอ๐๑ แเอ	ɔ, ɔɔ เอ๑๐๑ เอ๑

母音は短く発音する短母音(a)と長く発音する長母音(aa)があります。上段は日本語の母音に似ている音、下段は日本語にない音です。

- a    ๑๐:    (日本語と同じ)
- i    อิ:    口を横に広げてイと言う
- u    อุ:    口を突き出してウと言う
- e    เอะ:    (日本語と同じ)
- o    โอะ:    口を突き出してオと言う

- ๑ เออ: 日本語のエの口でウと言う
- ๒ อี: 口を横に広げてウと言う
- ๓ แอ: 日本語のアの口でエと言う
- ๔ เอ: 口をまる丸く広げてオと言う

● <sup>しいん</sup>子音

m, n, ŋ, w, y, f, h, s, l, r	
มอ นอ งอ วอ ยอ ฟอ ฮอ สอ ลอ รอ	
ph, th, kh, ch	・ ・ ・ <sup>つよ</sup> 少し強めに息をだす (有気音)
พอ ทอ กอ ชอ	
p, t, k, c	・ ・ ・ できるだけ息をださない (無気音)
ปอ ตอ กอ จอ	
b, d	
บอ ดอ	

1 段目と 4 段目の子音は英語とほぼ同じ発音です。2 段目は有気音、3 段目は無気音です。

๓ งอ: nよりも鼻はなで音を出します。ンガーという感じでンとガを合わせて音を出します。

๔ รอ: <sup>ま</sup>巻き舌のように舌をしたふるわせて発音します。

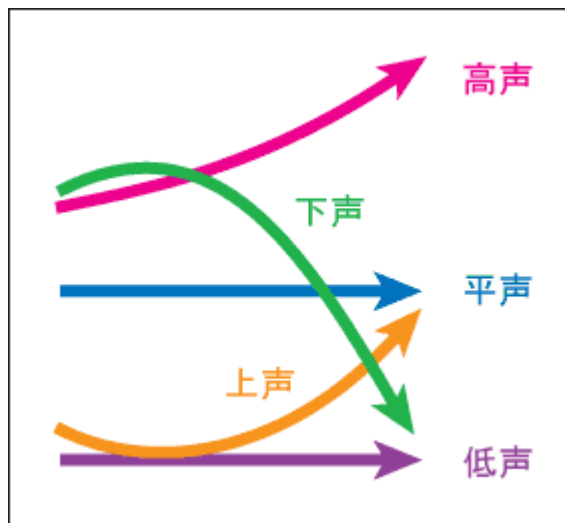
● <sup>まっしいん</sup>末子音

<sup>ごまつ</sup>語末につく m, n, ŋ, p, t, k の 6 つの音です。唇くちびると舌の形で音を出します。初めは音が聞こえるか聞こえないかぐらいの短くて小さい音のように聞こえます。

● 声調 せいちょう

middle tone へいせい 平声 เสียงสามัญ	low tone ていせい 低声 เสียงเอก	falling tone かせい 下声 เสียงโท	high tone こうせい 高声 เสียงตรี	rising tone じょうせい 上声 เสียงจัตวา
(なし)	、	^	´	ˇ

- aa อ่า: たい ちょうし 平らな調子
- àa อ่า: ひく いち 低い位置から平らな調子
- âa อ่า: さ 高い位置から低く下がる
- áa อ่า: あ 高い位置から、さらに高く上がる
- ǎa อ่า: へいせい 低い位置から平声の位置まで上がる



## ●Lesson 2 中子音字、長母音字(1)

### พยัญชนะอักษรกลาง สระเสียงยาว(๑)

#### 1. 中子音字

##### (1) 音と名前

中子音は9字あります。以下のとおりで、左側はよく使う字で、右側はあまり使われない字です。左側の字をしっかりと覚えるようにしてください。最後の ๓ は、少し詰まったかん感じの音で、息が止まったような「ツ」という音です。いき と通常はこの子音の発音記号は書きません。このテキストでは中子音はみどり緑色で、高子音はあか赤色、低子音はあお青色で表します。

##### 中子音字

字	音	字の名前	字	音	字の名前
ก	k	ก๑ว-k๑i( <small>にわとり</small> 鶏 のก๑ว)			
ค	c	ค๑ว-caan( <small>さら</small> 皿 のค๑ว)			
ด	d	ด๑ว-d๑k( <small>こども</small> 子供 のด๑ว)	ฎ	d	ด๑ว-chadaa( <small>かんむり</small> 冠 のด๑ว)
ต	t	ต๑ว-t๑w( <small>かめ</small> 亀 のต๑ว)	ฏ	t	ต๑ว-pat๑k( <small>すいぎゅうぼう</small> 水牛棒 のต๑ว)
บ	b	บ๑ว-baim๑ai( <small>は</small> 葉 のบ๑ว)			
ป	p	ป๑ว-plaa( <small>さかな</small> 魚 のป๑ว)			
๓	'	'๑ว-๑a๓( <small>はち</small> 鉢 の'๑ว)			

(2) 書き方

<sup>まる</sup>  
丸のある字は、丸から書き始めます。



## 2. 長母音字(1)

### (1) 音と名前

長母音字は12字あります。以下のとおりです。

#### 長母音字(1)

字	音	字の名前
ำ	aa	sarà-aa
ำ	ii	sarà-ii
ำ	uu	sarà-uu
ำ	uu	sarà-uu
ำ	ee	sarà-ee
ำ	εε	sarà-εε
ำ	oo	sarà-oo
ำ	๑๑	sarà-๑๑
ำ	๑๑	sarà-๑๑
ำ	ia	sarà-ia
ำ	ua	sarà-ua
ำ	ua	sarà-ua

(2) 書き方

仮に子音字 <sup>かり</sup> ๐ を入れてあります。左側の文字から先に書き始めます。子音の上下に母音がつく場合は、子音を先に書いて母音を書きます。たとえば <sup>い</sup> ๐<sup>さき</sup> は ๐ を先に書いて <sup>ゝ</sup> を書きます。๐<sup>ゝ</sup> は <sup>ゝ</sup> を先に書いて ๐ を書きます。๐<sup>ゝ</sup> は ๐ を先に書いて <sup>ゝ</sup> を書きます。<sup>ゝ</sup> は <sup>ゝ</sup> を書いてから、<sup>か</sup> <sup>き</sup> <sup>ず</sup> のように3番目の線の右側に下向きに4番目の線を添えます。



### 3. 声調規則 ①

それでは、ここで以上の中子音と長母音を使ってタイ文字を書きましょう。

ก	kaa	からず
เ	cəə	あ 会う
ดู	duu	見る、～に見える
ตี	tii	たたく
บัว	bua	ハス
ปี	pii	ねん とし 年、歳

これを声調規則に <sup>あらわ</sup>表すと <sup>い</sup>以下のとおりになります。

**声調規則 ①**  
 中子音で始まり、長母音（<sup>へいおんせつ</sup>平音節）で終わり、声調記号がつかない ⇒ <sup>へいせい</sup>平声

この声調規則①は下記の <sup>いちらんひょう</sup>一覧表では <sup>き</sup>黄色の部分となります。

#### 声調規則一覧

	へいおんせつ 平音節					そくおんせつ 促音節	
	なし	— <sup>´</sup>	— <sup>ˊ</sup>	— <sup>ˋ</sup>	— <sup>+</sup>	ちょうぼいん 長母音	たん 短母音
<sup>こうしいん</sup> 高子音	∨	↘	∧			↘	
<sup>ちゆう</sup> 中子音	→ ①	↘	∧	↗	∨	↘	
<sup>てい</sup> 低子音	→	∧	↗			∧	↗

黄色はすでに勉強したところです。

**● 練習**

・ 発音 次のタイ語を発音しましょう。

จอ	<small>がめん</small> 画面、スクリーン
ตัว	<small>からだ</small> 体
ดี	<small>よ</small> 良い
ตา	目、おじいさん（母の父）
โต	大きい
ปา	<small>な</small> 投げる
ปู่	カニ
อา	おじさん（父の弟・妹）

・ 日本語訳 やく 次のタイ語を読んで、日本語に訳しましょう。

1. จูตา
2. จูบัว
3. ดีปู่
4. จูดี
5. จูตาอา

6. ตาปู่

7. เจออา

8. ตาโต

9. ลูกตาโต

10. ลูกจอบ